



第47号

発行日

2016年7月15日  
《隔月15日発行》

# 石産協通信

sekisankyo tsuushin

石を愛するコミュニティ



一般社団法人

日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階

Tel: 03-3251-7671 Fax: 03-3251-7681

http://www.japan-stone.org/

企画・編集・発行: 広報委員会

## 「平成28年度 熊本地震」について

災害対策本部長  
いばかつゆき  
射場一之

当会では災害対策マニュアルに則り、4月26日に「熊本地震災害対策本部」を設置しました。地震発生から1か月が経過し、頻発する余震が収束に向かいつつあることが確認できた5月27日(金)、井口直前会長、福川副会長と共に被害調査に行っていました。

新幹線の熊本駅に降り立った私の目に映ったのは、ごく当たり前の風景でした。新幹線駅周辺はいわば新しい街であり、被害はほとんどなかったのです。しかし古い街区に入った途端景色は一変。地震の被害が現実のものとして身に迫ってきました。余談ながら墓地に向かう道すがら、古い建物とりわけ木造家屋の耐震補強の重要性をひしひしと感じました。

さて、熊本駅で金子九州・沖縄地区担当副会長と合流し、田尻熊本県支部長の案内のもと、熊本市石材商工業組合橋口組合長(当会副支部長)、熊本県石材工業組合連合会荒木会長にもご一緒いただき、熊本市営墓地などを視察しました。

おおよそ1万8千基ある市営墓地の墓石のうち、約1万300基が何らかの被害にあったとのこと。予想通り施工年度の古い墓石の多い区画ほど被害は甚大でした。比較的新しい施工年度で倒壊している墓石のほとんどはセメント施工、もしくは接着剤の使用量が著しく少ないものでした。



墓石の補修や建て直し作業など対価が発生する内容については現地の石材店が対応するべきであり、外部からの支援は現地の仕事を奪うことになり好ましくないと考えます。現地を視察し、地元の方々とも協議した結果、墓石や外柵の倒壊により通行不能となった通路の整備を行うことで合意しました。それは現地の石材店が作業を行う際の大きな障害を除去するためであり、そして何よりも消費者の墓参時の安全を確保することが目的です。

また、支援の実施に先立ち、全優石・吉田剛会長並びに同熊本地震対策本部・吉田岳本部長と会談し、相乗効果を期待できる部分では協力し合うことを確認するとともに、支援の輪を業界全体に広げていくことで合意しました。





# 第7回 定時総会 in

6月16日 (木)	基調講演／パネルディスカッション／定時総会／祝賀会 横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール	 
6月17日 (金)	研修会 三溪園／外国人墓地／中華街	

絶望を希望へ。  
そして  
その先の未来へ。

会長  
いぼかつゆき  
射場一之



今、時代は大きく、しかもものすごい勢いで変わってきています。しかし、時代の変化に伴って変わるべきものと、時代の変化がどうあっても変えてはならないものがあります。

昭和の初め、伊勢神宮に参拝したアインシュタインは「日本の家族制度ほど尊いものはない」と述べたといわれます。しかし、日本が個人主義になるに従い、子が親を殺すという事件が増えています。殺人事件は戦後減少し続けていますが、親族間の殺人は2003年まで40%前後だったものが、2012年以降は50%以上となっています。子が親を敬わないという傾向が、殺人事件のデータにも表れてきているといえるでしょう。わが子の幸せを願い育む「愛情のリレー」は世代から世代へ引き継がれています。しかしながらその「愛情のリレー」のバトンを手渡してくれた親・祖先に感謝し、供養する心は急速に薄れてきています。時代は変貌を遂げても、故人を思いやる人間の心は絶対に変わってはならないものはずです。人の死、供養を単なる事務処理化してしまっはけません。

私たちが今なすべきこと、それはひるむことなく「お墓離れ」と正面から向き合うことです。そして急速に進行しつつある「お墓離れ」を「結果」ではなく、「過程」にすることです。いつか、お墓離れを「昔話」にすることです。

社会心理学に「予言の自己成就」という概念があります。本来なら起こり得なかった状況が、人々が起こりそうだと考え、行動することによって、実際に起こってしまうことをいいます。家族が亡くなったらお墓を建てて供養するのが当たり前——そんな時代をきつと取り戻すことができます。私たちが心からそう信じ、行動すればそれが可能だと私は信じます。「昔はよかった」とただただ過去を振り返っていて、それが一体何になるのでしょうか。私は、視線を未来に向け「未来を夢見る」という使命を持ちたいと思います。「未来」は「来る」ものではなく「つくる」ものだと思うからです。そしてその一歩は、未来を信じ抜くことから始まる、と考えます。

「いつか」でも、「だれか」でもなく、今、自分が石産協を、石材業界を変えていく——私は石産協を、そんな気概に溢れたコミュニティにしていきたい。一人ひとりが“自分には何ができるか”と深く問いつつ、希望の種をまいて行く同志のコミュニティにしていきたい。

私は未来を信じます。

すべての石材店と共に、そしてすべての人のために。

参加者240名!  
おかげさまで  
大成功!!

実行委員長  
ながえようこ  
長江曜子



ご来賓を含め240名の参加者で第7回定時総会が横浜の地で無事開催されました。射場会長、井口直前会長、大木南関東地区長と木村神奈川県支部長の御尽力と、田代東京支部長、望月山梨支部長、天野千葉県支部長、戸高埼玉支部長と各支部スタッフ、事務局の協力の下、おそろいのTシャツで、全国から参加する会員のみなさまをおもてなしの心で迎える準備会を7回開催しました。

一日目の16日朝9時、横浜赤レンガ倉庫の会場前にスタッフ集合の時点で、小雨が降り出し心配しました。予報は午後には雨、夕方雷雨でしたが、皆の情熱のおかげで、12時半の全体開会式から総会終了まで、雨は降るのを待ってくれました。鶴飼秀徳氏の基調講演「寺院消滅 お墓のある豊かな暮らしの再生と未来」と、昨年上場を果たした(株)鎌倉新書の清水社長、大阪石材工業(株)の伯井社長、射場会長のパネルディスカッションでは充実した内容で、質疑応答も活発に交わされました。少子高齢人口減少、情報化社会等変化の中で、命の大切さを伝える産業だからこそ、できることから努力することを再認識しました。

総会終了後、横浜港を眼下に望むホテルモントレ13階に会場を移し、170名でジャズを楽しみ交流を深め、大変盛り上がる祝賀会となりました。

二日目の研修は、朝9時に53名がホテルモントレ前に大集合。明治の大実業家であり茶人、日本画家でもあった原三溪の邸宅「三溪園」と外国人墓地を大型バスで巡り、中華街の老舗「重慶飯店」で美味しい昼食を堪能しました。

おかげさまで事故なく横浜での2日間に渡る定時総会を終了することができましたこと、ご協力いただきましたすべての方々から感謝いたします。

## オリジナルTシャツの販売

このたびの基調講演参加者にはもちろん、オリジナルTシャツをプレゼントしました。開催地横浜みなとみらいをデザインし、柔らかく素材にこだわった着やすいVネックTシャツです。数枚在庫がありますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。  
■サイズ:XLのみ ■価格:¥2,000(送料込み)



# 横浜

総会出席者	234名
議決権出席者 *定数は会員数の過半数以上とする。	172名
委任状数	600名
合計	772名



第7回定時総会が開催され、2015年度事業・会計報告及び2016年度事業計画、事業予算、役員改選について審議され採決により可決されました。詳細は事前配布した総会資料をご覧ください。なお、役員名簿・組織図は当会ホームページでもご確認いただけます。

## 基調講演 鶴飼秀徳氏による 「寺院消滅 お墓のある豊かな暮らしの再生と未来」

明治維新後廃仏毀釈で寺院が消滅したとしても、墓参・供養が残った鹿児島県の事例を示し、石材業の可能性を説かれました。

## パネルディスカッション

基調講演を受けて、4名のパネラーの意見交換がなされました。

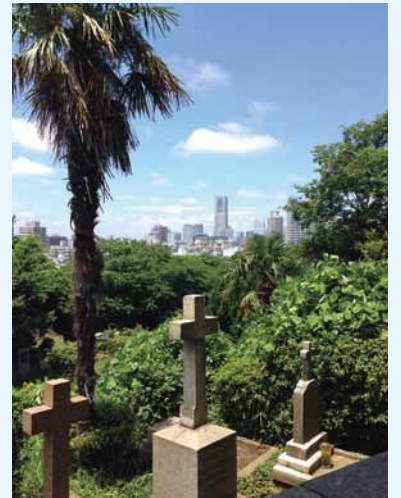


## 祝賀会 ホテルモンテにて、JAZZバンドを迎え盛大な会となりました。



## 研修会

三溪園では新緑もまばゆい雨上がりの晴天で、日本庭園の美しさがより一層映えました。外国人墓地では丘の上に作られたモダンな町並みを通り抜け、横浜の山手らしさを見ることができました。



第7回定時総会で2016年度の組織が決定するとともに、地区、部会、委員会計画が可決されました。まずはその一部をP4とP5でご紹介します。

## 輸入卸商部会

# 日中墓石交流会

開催:2016年11月20日

開催地:中国・崇武西沙湾假日酒店

みなさまのご協力をいただき中国・崇武にて『日中墓石交流会』が開かれることが決まりました。前回(2014年10月21日)より約2年ぶりの開催となります。

日中石材協議会の時代から振り返ると10年近く経つこの交流会ですが、まだ記憶に新しい2012年9月に中国で行われた交流会は尖閣諸島問題の緊張感が張り詰め、巷で日本語を喋ると人々が振り返って睨んでくるような状態、また泉州の公安から交流会を止めるよう指示が出ていた大変な状況下にも拘らず、恵安県石彫石材同業公会の蔣会長の手配でホテル入口に警備員を配置し無事に交流会を終えたということがありました。こうして育んできた日中の業界団体の絆はこの上ないものがあると思います。

「中国の工場経営者は日本の景気が良くなればまた沢山の注文が来ると考え、我慢して安く品物を作っている人が思いのほか多い。」また、「特に輸出をする商社の下請けで品物を納めている工場の経営者は、日本で墓石が売れなくなった理由が単に不景気だけではないということを知らない。」という声が聞かれます。情報不足を補うために、交流会では、日本での墓石需要が少なくなった原因と実情を説明し、日中双方の直近実績及びデータを共有し、次年度以降の各会社経営に役立てていただきたい考えです。

そのため、8月25日に準備会として双方の意見交換をした後、屋内自動搬送式墓所の赤坂浄苑((株)はせがわの協力)見学会を企画しております。前日には部会員の案内で東京ビッグサイトで行われているエンディング産業展を見学、夕刻より親睦会を行います。

景気の良い話が少ない中ですが、交流会を通じて両国の業界へ質の高い情報を発信し、ともに繁栄する一助となり続けられるよう、日中の石材業界のより良い関係を築いていきたいと考えております。

今後ともみなさまのご支援とご協力の程、宜しく申し上げます。

[輸入卸商部会 部会長 望月秀康]



日中石材交流会



日中石材交流会記念品贈



日中石材交流会工場見学

## 顧客満足推進委員会

今年度より、新設された『顧客満足推進委員会』は、お墓を販売することが困難な時代において、石材店が取り組むべきことを消費者の視点で分析した方策を具現化し、役立つ実践ツールを制作・提供すると共に、今日の「お墓ばなれ」を少しでも食い止めるべく施策を打ち出し、「顧客満足」と「会員メリット」の両方を目指した委員会です。業界改革に興味がある方は是非ご参加を!!

委員長(新任) のじまたかし 能島孝志



## お墓ディレクター委員会

今年度よりお墓ディレクター委員会の委員長の重任を仰せつかりました湯浅です。お墓ディレクター委員会は全国各地より集まった志ある1級取得者で構成され、検定試験の運営を軸に取得者研修会の企画運営や書籍・取得者グッズの販売などを行っている委員会です。ディレクター資格の価値・資質向上や一般消費者から必要とされる存在となるよう力を合わせ切磋琢磨していきたいと考えています。随時メンバーを募集しています。

委員長(新任) ゆあさあつし 湯浅篤



# 秋分の日は「お墓参りの日」。



2013年度から展開を開始した『秋分の日はお墓参りの日』が、本年で4年目を向かえます。より多くの消費者にこのポスターを見てもらい、「お墓参りの日」が近づいて来ているという流れを世の中に広めていきたいと、例年よりも早めに企画しました。今年の目標は、全国に1万枚のポスター掲示です。

「お墓参り」は、私たち日本人の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられた貴重な文化財産です。きっと、日本人のDNAの中に組み込まれていると信じています。お墓参りの回数が少なくなったと言われてはいますが、もしかすると、仕事や家事が忙しくて、なんとなく優先順位を後回しにしているだけかもしれません…。消費者に今一度お墓参りの大切さに気付いてもらいたいという活動です。

「お墓参りは、秋分の日だけじゃない」という考えもあるでしょう。しかし、“千里の道も一歩から”まずは、出来ることからやっていきませんか。また、「俺がやらなくても誰かがやってくれるよ」という声も聞こえます。「俺がやらねば」です。「墓じまい」の動きを止めるのは、みなさまの「確実な一歩」からです。

すでに、2016年度版ポスターは会員各社のお手元に届いていると思いますが、趣旨をご理解の上、ぜひみなさまのご協力をお願いいたします。[広報委員会 委員長 上野國光]

「墓じまい」という言葉がニュースで取り上げられることが多くなった昨今、広報委員会では会議のたびに、「お墓の大切さ」、「お墓が石である理由」という石材の仕事に関わる中で基本的なテーマを掲げ、繰り返し意見を出し合い、活動の方向性を決めています。さまざまなお考えをお持ちの会員のみなさま、ぜひ活発な意見を共有していきましょう。委員会活動への参加をお待ちしています。

**【掲示先】** 貴社店舗、事務所、寺院、仏壇店はもちろんですが、地元町会の掲示板、銭湯、スーパーなど。花束をもつ少女を起用したのは、生花店などにも親しみやすいと思います。とにかく、多くの方が目にするような場所に掲示をお願いします。

**【掲示期間】** 2016年7月10日～2016年9月末日

**【追加依頼】** ポスター追加を希望の方は、追加申込書にて事務局へお申込みください。在庫のある限り対応させていただきます。(送料のご負担をお願いいたします。)また、ご希望サイズをご希望の枚数でご注文を承ります。納期確認の上、印刷費を実費で申し受けます。

**【注意事項】** ポスター写真には使用权があるため、データでのお渡しは致しかねます。また、二次利用は固くお断りいたします。

### 新入会員紹介

会員数:1,254名  
(2016.5.18現在)

#### 北海道

**二瓶石材**  
 会員代表:二瓶和明  
 設立:昭和57年4月  
 業種:墓石

#### 茨城県

**(有)羽黒字彫興業**  
 会員代表:利根川剛  
 設立:平成元年2月  
 業種:加工

#### 東京都

**(株)サンセキ東京四谷支店**  
 会員代表:熊野俊也  
 設立:平成28年3月  
 業種:建築、輸入

石産協通信は地区支部、部会、委員会  
 の活動を紹介し、会員の皆様のお役に  
 たてるようなメディアを目指します。ぜ  
 ひ、様々な事業に参加して会員メリッ  
 ッを見つけてください。新規会員も随時  
 募集しています。入会パンフレットな  
 ど資料請求は事務局まで。

#### 神奈川県

**内外物流(株)**  
 会員代表:金子広樹  
 設立:平成14年1月  
 業種:輸入

#### 奈良県

**(株)美匠**  
 会員代表:中西あざみ  
 設立:平成17年12月  
 業種:墓石

#### 広島県

**(株)フジイ大理石工業**  
 会員代表:藤井英勝  
 設立:昭和20年4月  
 業種:墓石

お墓ディレクターNEWS

# リーフレットの活用方法



沖縄は梅雨明けしたそうですが、まだまだ雨の勢いは止みそうにありません。  
 週間天気予報と首っ引きの毎日です。梅雨が明ければすぐにお盆がやってきます！（関西は古式の暦のまま、お盆は8月なのです。）今年も元気にお盆を迎えましょう！  
 今回は、営業マンとしての取り組みをご報告します。皆さまの参考になれば嬉しいです。「お墓ディレクター」って何？リーフレット、ご存知ですよね？！お店に置いたり、資料と一緒にお客さまに送ったりしていたのですが、ちょっと反応が寂しいので、お会いするお客さま全てに直接手渡しすることになりました。  
 ほとんどの方が、「へえ～、こんな資格があるんやね。すごいねえ。」と笑顔で反応してくださって、「そうなんです！いろいろ勉強したので、なんでも聞いてください！」と和やかムードに。お客さまがリラックスしてくださるのに役立ってくれました。  
 その中の一件、ご戒名の追加彫刻で伺ったお宅で、ご挨拶の後にリーフレットを渡したところ、「実は亡くなった主人名義のお墓が別の墓地にもあって、そのお墓は承継者がいないので今すぐではないけれどお墓じまいしないといけない」とご相談をいただきました。お客さまの中で、「追加彫刻の話をして来た人」から、「お墓の相談に乗ってくれる人」に変化したのを肌で感じた瞬間でした。  
 まずは安心していただけるんだ、ということを改めて実感できたこと、また、私たちの少しのアピールで「もっとなんでも相談していいんだ！」と思ってもらえる。そんな小さな手助けに、このリーフレットを活用してみたいはかがでしょうか。[お墓ディレクター委員会 塩田 結]

## PRAY for (ONE) 小さな祈りのプロジェクト in 清水寺 2016年6月13日(月)

小雨の降る初夏、京都清水寺円通殿に於いて、祈りを折り鶴に託した法要が催されました。  
 当会の参加者を含み、71名で、ピンクと青の2種類の鶴に願いを込めて折りあげました。  
 この催しはPRAY for (ONE)発足の昨年から全国各地で行われ、今回初めて清水寺での開催となりました。また、プロジェクトに賛同いただく京都ジェヌにも参加いただき、厳かの中に少し華のある京都ならではのものとなりました。  
 広報委員会では今後も心に残るPRAY for (ONE)の活動を応援していきます。[広報委員会 吉野 博]



PRAY for (ONE)

Webサイトにアクセスしてください!!  
<http://prayforone.jp/>

## 事業案内 2016 7月～9月

ホームページリニューアルに伴い、TOPページにカレンダーが表示されています。

8月23日(火) 東京都  
**第1回常任理事会**

9月22日(木・秋分の日)  
**秋分の日はお墓参りの日**

8月22日(月)～24日(水) 東京都  
**エンディング産業展**

9月29日(木) 東京都  
**第4回正副会長会議**

## 委員会・部会活動 7月～9月

8月25日(木) 東京都 **輸入卸商部会(日中墓石交流会準備会)**

〈広報委員会よりお知らせ〉

毎号ご愛読いただきありがとうございます。石産協通信を通し、当会の活動を広くご周知いただけるよう、ぜひ社内の方々にまで回覧をお願いいたします。また、1部では足りないという方は事務局までご連絡ください。

ishiku 石工男子

日本が誇る素晴らしい石工たちの、魂の仕事。

49Dc

お待ちします!

目指せ149人! あなたもエントリー!

エンディング産業展当会ブースにて石工男子たちをご紹介します。エントリー絶対受付中。[広報委員会 小田和比古]

### エンディング産業展の後援及び出展

2016年8月22日(月)～24日(水) 東京ビッグサイト

エンディング産業展(ENDEX)とは葬儀・埋葬・供養に関する設備・機器・サービスの集まるエンディング産業に関する専門展示会です。  
 昨年12月の初開催では25,000人もの集客がありました。今回も葬祭業・墓苑・霊園管理者、寺社仏閣の宗教関係者、自治体の生活衛生関連の方々などから注目が集まり、商談・情報交換のための専門展示会として、東京ビッグサイトで盛大に開催されます。  
 当会ではエンディング産業における墓石の位置づけを明確にアピールすることを最大の目標とし、前回に引き続き後援するとともに、ブースを設け来場者に当会の活動を紹介します。  
 入場券を同封いたしますので、お問い合わせの上、ぜひご来場ください。また、当会ブースにお立ち寄りの際はお声がけください。

### ジャパンストーンショー2017 開催決定

2017年8月23日(水)～25日(金) 東京ビッグサイト 東ホール

2017年度事業として当会主催で、石材産業専門の展示会が開催されます。パンフレットにも記載がある通り、当会の会員は、出展価格の割引が適応されます。「エンディング産業展2017」、「空家対策展」と同時開催となりますが、本年開催のエンディング産業展の様子をご覧いただき、ご検討ください。

### 建築石材アドバイザー及び 建築石材シニアアドバイザー 資格認定試験

2016年10月1日(土) 東京・大垣・大阪

この試験は「建築石材業のプロ中のプロを育成すること、あるいはプロ中のプロであること」を全国建築石材工業会が認証することを目的としています。当会は全国建築石材工業会との業務提携をしているため、当会員にも受験資格があります。詳細は同封の受験要項をご確認いただき、ぜひお申し込みください。